

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部



課長 企畫 公報 死亡 北方

現認證明書
詔定案
昭和 年 月 日 調製係

| | | | | | | | | |
|------------|--------------------------|---|------------------|--------------|---------------|---|-------------------------------------|-------------------|
| 本籍地 | 所屬部隊 | 兵役 | 留學 | 生年月日 | 死亡場所 | 死亡状況 | 現認者 | 兵籍 |
| [Redacted] | 國有名十六野戰師使隊 通稱 尚武四〇三部隊 | 役種 陸軍 軍馬 徵集年月日 昭和六年十月十八日 死亡後階級陸軍 | 出工 [Redacted] | 昭和三年三月十日 時 刻 | ミンダナオ島 マライバライ | 發病(反傷)年月日 病名及受傷部位 現任所 [Redacted] | 旧所屬部隊 第十六野戰師使隊 續柄人 等村 官等 陸軍准尉 六等 | 不歸還 [Redacted] |
| | | | | | | 死 遺 骨 | | |



兵部 15

現認證明書

比島派遣憲兵隊マニラ南分隊

陸軍軍属

本籍地

現住所

令

右ノ者昭和貳拾年参月拾日拾七時参分比島呂宋島リサール州アレス和口ニ於テ戦死ニシテマトラ明ス

昭和二十二年十一月三日

比島派遣軍司令官

本籍地

陸軍砲兵伍長

長官

94

本籍地
現住地

[Redacted]

所屬部隊 固有部隊名 歩兵第三十九聯隊
通稱 通稱名 歩兵第五十四支隊

官等級氏名(死亡前) 陸軍少尉 [Redacted]

年 月 日生

右の者昭和ニヨ年三月一日午時分
ガクササ峠に於て戦死(病傷名)したことを証明する

昭和ニヨ年二月十九日

所屬部隊
現住地

[Redacted]

死亡者との關係 一五七五

(舊)職官等級氏名 陸軍少佐 [Redacted]

陸軍第二回大戦
陸軍第三回大戦

446

戦死証明書

一、 戦死者本籍地

戸主名 姓 氏 名

長男

氏名

年 月 日生

162-11

二、 所属

第一師団 歩兵 第六旅団 第三師団

三、 戦死者徵集年

八年 役種 歩兵 死亡前官 上等陸軍一等兵 昭和 年 月 日

四、 戦死年月日時刻及場所

昭和 年 月 日 時 分 場所

五、 戦死現認ノ程度

死体確認ス

六、 遺骨歸還ノ有無

不明

七、 戦死當時ノ状況ノ概要

追突戦中 急死

八、 死亡区分

戦死 事由 戦死 昭和 年 月 日

九、 其ノ他

戦死に於ては 戦死に於ては 戦死に於ては 戦死に於ては

十、 遺族ノ現住

戦死者ノ 姓 氏 名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明人住所

戦死者ノ 關係

所属部隊名

第一師団 歩兵 第六旅団 第三師団

兵種 歩兵 官等 陸軍一等兵

氏名

市町長證明箇所

市町長 証明 箇所

印

15

[REDACTED]

不詳 不詳

不詳 不詳

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

| | |
|----|----|
| 姓名 | 不詳 |
| 性別 | 不詳 |
| 年齡 | 不詳 |
| 籍貫 | 不詳 |
| 職業 | 不詳 |
| 住址 | 不詳 |
| 電話 | 不詳 |
| 其他 | 不詳 |
| 備註 | 不詳 |
| 日期 | 不詳 |
| 簽名 | 不詳 |
| 印章 | 不詳 |

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

本籍地 [redacted] 新 貴 登 月 書
 有 居 部 隊 名 姓 氏 名 隊 別
 役 年 階 公 役 種 手 備 兵 種 歩 兵 官 字 號 之 并 陸 軍 年 當

留 于 祖 國 者 庄 芥 [redacted] 氏 名 [redacted]

| | |
|-----------------|---|
| 出 発 地 名 | 門 司 港 昭 和 十 九 年 八 月 十 九 日 |
| 出 発 日 | |
| 到 達 列 着 日 | ルソノ島ニホツク 海 昭 和 十 九 年 九 月 二 十 日 |
| 勤 務 部 隊 名 | 不 明 |
| 入 隊 年 月 日 | |
| 出 隊 年 月 日 | |
| 受 給 金 額 | ルソノ島 及 北 年 十 二 百 高 故 |
| 受 給 金 種 類 | 昭 和 二 十 年 三 月 十 日 |
| 受 給 金 支 出 部 門 | 大 股 部 |
| 受 給 金 支 出 年 月 日 | |
| 死 亡 年 月 日 | 昭 和 二 十 年 三 月 十 日 |
| 死 亡 場 所 | ルソノ島 及 北 年 十 二 百 高 故 |
| 死 亡 之 由 | 戰 死 |
| 死 亡 之 詳 況 | 敵 上 交 戦 中 砲 撃 二 十 大 股 部 百 高 故 及 北 年 十 二 百 高 故 二 十 |
| 死 亡 之 詳 況 | 戰 死 |

石 證 明 云

昭 和 三 十 三 年 一 月 十 日

林 原 市 原 市 招 我 集 團 兵 團 部 隊 陸 軍 上 等 兵 支 隊

石 證 明 云

昭 和 三 十 三 年 一 月 十 七 日

[redacted signature block]

11

| | | | | | | | | | |
|------------------|-----------------------|--------------|------------------|--------------------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| <p>新 属 部 隊 員</p> | <p>徵 役 天 正 14 丁 場</p> | <p>水 籍 地</p> | <p>留 守 所 營 長</p> | <p>三 丁 時 病 氏 名</p> | <p>死 亡 年 月 日 正 20 子 10</p> | <p>身 亡 場 所</p> | <p>死 亡 箇 分</p> | <p>死 亡 原 由</p> | <p>遺 骨 遺 留 箇 分</p> |
| | | | | | | | | | |

昭和二年五月十日
 日 新 部 隊 員 王 三 務 衛 大 隊
 元 陸 軍 第 一 師 團 同 部 隊 員 友
 統 紅 新
 及 捺 印

11 第 一 師 團 同 部 隊 員 友
 統 紅 新
 及 捺 印

戰歿者確認書

| | | | | | | | |
|---------------|---------------------------|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 徵集年 昭和三十五年 | 役種 兵種 | 官等 | 氏名 | 死亡場所 | 死亡區分 | 死亡年月日時 | 死歿者本籍地 |
| 步兵 | 陸軍 | 上等兵 | 山岳洲 | ルソン島 | 戦死 | 昭和三十五年 三月五日 | 本籍地ニ全ジ |
| 補兵 | 陸軍 | 上等兵 | ハナ峠南 | 才田料地点 | 銃創 | 午前 拾時 | |
| 陸軍兵長 | 陸軍 | 陸軍兵長 | 才田料地点 | 才田料地点 | 銃創 | 午前 拾時 | |
| 昭和三十五年六月三日 | 元所屬部隊第一〇五師團 獨立歩兵第三五九大隊 | 第一〇五師團 獨立歩兵第三五九大隊 銃砲隊 | 比島嶽遺軍威第一〇六七部隊 | 比島嶽遺軍威第一〇六七部隊 | 比島嶽遺軍威第一〇六七部隊 | 比島嶽遺軍威第一〇六七部隊 | 比島嶽遺軍威第一〇六七部隊 |

右確認証明ス

昭和三十五年六月三日

現住所

元所屬部隊第一〇五師團獨立歩兵第三五九大隊

中尉
十三年

課長

係長

主任

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

固有部受名

三航通 一中隊

通稱號

威一五三七部隊

死亡前階級

一等兵 死亡後階級

散 集 年

役種

兵 隊

年 月 日生

本 籍 地

留守階級
現 任 氏 名

死亡月日
場所 事由

右の首昭和 20 年 3 月 12 日 時 分 於 西 方 に 於て
斬 込 に 依り 戦 死 せ し 事 を 確 認 す

遺 留 品

其の冊

遺 書

遺 物

確 認 印
確 認 甲

職 位 所

所 屬 部 隊

同 右 中 隊

首 長 氏 名

印

上 等 兵

[Redacted]

(標 別)

15-12

死亡現認證明書

昭和十一年十一月十九日

所属部隊 固有名 四龍軍司

死亡場所

七律貴光部名東島

本籍地

死亡年月日

昭和十一年五月十六日

死亡前の階級

死亡区分

爆死(戦死)

氏名

受傷箇所

腹部破片創

遺体

発病年月日

昭和 年 月 日

由島カガヤ前中隊落り内地帰還の爲に注宅にて居りしが

三月十二日ノースアメリカン爆撃機丁ニ被弾隊ヲ落下本爆撃機の

為破片にて腹部を貫通爆死せり時十三時頃

吾々戦友にて埋蔵せり

記載上の注意

一 現認事由は死亡当時の状況を詳細に記入する
 一 階級は必ず死亡前のこと
 一 本籍地は正確に記す
 一 氏名は必ず記す
 一 故人との関係は中隊長分隊長戦友等の別を記入する

證人所属部隊 固有名

本籍地

現住所

階級及故人関係

者氏名

四龍軍司

陸軍一等天候友

陸軍一等天候友

陸軍一等天候友

陸軍一等天候友

現認書

本籍地

部隊名

官等氏名

軍屬

死因

死亡年月日 昭和二十年三月十日

死亡場所

信濃縣上州

死亡理由

通信任務遂行中敵迎撃隊に遭撃し、頭部貫通死

死亡区分

戦死

右現認

現認者

本籍地

部隊名

官等氏名

第七航空通信隊

陸軍中尉

現認證明書

本籍地
現住所

所屬部隊 第四航空軍 陸軍一〇七機隊

官氏名 陸軍 陸軍一〇七機隊 陸軍一〇七機隊

死亡場所 東北(マニラ)

死亡區分 痲瘋

死亡日時 昭和二十年三月十三日

死亡傷(病)名 マラリヤ病(痲瘋)

留守擔當者住所 現住所ニ同ジ

續柄氏名 妻

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所

元所屬官氏名

第四航空軍 陸軍一〇七機隊

陸軍一〇七機隊

現認証

本籍地

部隊名

官尋氏名

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡理由

右現認証

[Redacted]

[Redacted]

昭和三十三

ルン島

戦死

[Redacted]

飛行三〇〇隊

[Redacted]

本籍地

部隊名

官尋氏名

88-12

第...號

戰死確認証明書

威九一五〇部隊

故陸軍上等兵

右ノ者昭和三年三月十三日ルソン島ニ於テ戰

死セル事ヲ確認シ證明ス

威九一五〇部隊

元々...

昭和三年二月二十日

別書相違無キ事ヲ証ス

現認證明書

本籍地

浙屬鄞縣國有私運軍火案
(通海部) 戚三三之部 陸軍

徵業年

官等級及名

陸軍

一等兵

(連級年月日)

年

月

日

死亡年月日

昭示年 年 月 日

死亡場所

山多山

死亡之因

負傷致死

死亡狀況

沉獲部

右正現認證明書

昭示年 年 月 日

戚三三之部

隊

現認者

現任所

陸軍部

陸軍部

八、死亡區分 戦死 事由 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地ニ於テ死亡者覺悟ニ依リ申立カ、郵政管理局整理班) 昭和 年 月 日

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ続柄

妻

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係 戦友

所屬部隊名 マニウ航空隊

兵種

官等級陸軍 技術上等兵

氏名

市町村長證明箇所

右相違ナキコトヲ認證ス

昭和 年 月 日

印

戦歿者確認(證明)書

一、死没者所属部隊名(通稱) 第七六〇三部隊 (獨立歩兵第三大隊 第四中隊)

一、徵集年 昭和十八年 兵種 歩

一、官位(死没前) 一等兵 (死没後)

一、氏名 [Redacted] 大正十一年十二月二十九日生

一、死没場所 北島 [Redacted] 島サボラカ市レミド附近

一、死亡原因(事由) 戦死(野山) 昭和二十年三月十四日 二十三時頃

一、死没年月日時 昭和二十年三月十四日 二十三時頃

一、死没者本籍地留守親當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十二年四月二十四日 元所属部隊名 第七六〇三部隊

現住所 [Redacted]

元官等 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハオムベクアノシク特ニ終戦後ノ死亡ハ相續ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ
タツシクオ知ラセドイ

地方世話部駐在係